

全日本卓球選手権大会ジュニアの部茨城県予選会（シングルス） 競技上の確認事項

今大会は、現行の日本卓球ルールを用いて、11 ポイント5 ゲームスマッチで試合を行います。大会参加にあたり、以下の6 点につきまして改めて確認および徹底をお願いいたします。

1 タイムアウトについて

タイムアウトにつきましては、男女シングルスベスト8 決定戦（ベスト16 の選手による試合）より適用いたします。

2 アドバイザーについて

アドバイザーの資格に制限はありません。ただし、同一試合内でベンチに入ることができるアドバイザーは1 名のみとし、試合途中の変更や交代は認められません。

3 審判の方式について

審判は原則として敗者審判制となります。試合終了後、その試合の審判が試合票を本部へ提出し、本部から受け取った次の試合票を次の試合の審判へ引き継いでください。なお、相互審判を実施する場合はコールの際にアナウンスします。試合の状況により双方からの審判の選出が難しい場合は、1 名の審判による進行も認めます。

4 試合の進行について

試合前の練習およびゲーム間の時間は1 分です。審判は各台のストップウォッチにて時間を計測してください。ゲーム間において、選手は台を離れてから1 分以内にコートへ戻ってください。また、選手へアドバイスを行えるのはベンチにいるアドバイザー1 名のみであり、コート外や2 階観客席等からのアドバイスは禁止となります。

5 審判の判定について

事実の判定に関しては、選手やアドバイザーの主張よりも審判の判定が優先されます。審判は責任をもって明確な判定を行ってください。本大会は個人戦ですので、ルールの解釈に関して審判へ確認を求めることができるのは選手本人のみとなります。判断が難しい事態や問題が発生した場合は、その試合の審判が直接本部まで申し出てください。

6 ラリー間のアドバイスについて

今大会（シングルス）において、ラリー間のアドバイスは不可となります。選手は、ゲームの間の休憩時間、あるいは認められた競技の中断時間のみ、アドバイスを受けることができます。